

令和5年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金（一次公募・継続）採択結果一覧

1 廃炉分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	廃炉技術の社会実装を見据えたダイヤモンド半 導体デバイスの研究	1kGy/hのγ線環境で使用する廃炉事業用臨界近接監視モニタの要である、ダイヤモンド検出素子の量産技術を確立する。またIRID参画企業から強いニーズのある耐放射線電子機器用ダイヤモンドFETと通信関連事業向けダイヤモンド高周波FETの開発を行う。	大熊ダイヤモンドデバイス(株) «430001086118»	大熊町
2	廃炉、除染を促進する、小型・軽量な全方位型 放射線イメージングシステムの開発	福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取り組みのうち、燃料デブリの取り出しは最も困難な作業である。本開発では、極限の高線量環境下における放射線量率マップとカメラで取り込んだ画像をVR画面上で融合し、3次元リアルタイムマッピング可能な全方位型放射線イメージングシステムを開発する。	(株)スター精機 «5380001015896»	相馬市
			(株)C&A «1370001022550»	相馬市
			(株)EXA «6370001042016»	相馬市

2 ロボット・ドローン分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	視覚を持ったAI販売員による地域社会インフラとしての小売ネットワーク構築	カメラで商品を認識して決済できる視覚を持ったAI販売員を、採算性に課題がある地方の小売りに導入する。復興エリアにて取り組み、相双地域発の持続型地域小売モデルとして事業展開可能な製品を開発していく。	(株)AIBOD ※ ≪ 290001072739 ≫	大熊町
2	低速モビリティ向け自律走行用センサー及びシステム開発	AMR(Autonomous Mobile Robot:自律走行搬送ロボット)等の低速モビリティ向けにレーダー＋カメラによる障害物検知機能をモジュール化した低価格・高精度センサーシステムを開発し人口減、高齢化社会における省人化に貢献する。	アルプスアルパイン(株) ≪ 010801000723 ≫	いわき市
3	給食センターや店舗等の厨房で利用される調理ロボットの研究開発と実証	浜通り地区の社員食堂や給食センターおよび一般店舗において、調理工程や食洗工程にロボットを導入することで、省力化・均一化を実現する「未来の厨房」を研究開発し、実用化に向けた実証実験ならびに量産試作を行う。	コネクテッドロボティクス(株) ※ ≪ 3080401019926 ≫	南相馬市
			タニコ(株) ≪ 2010701005897 ≫	南相馬市
4	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発	四方を海に囲まれた日本。海に関連する課題は産業利用の推進、由来する自然災害、環境の維持保全等と複雑化・広域化しています。これらの社会的課題に対応すべく、UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発を目指します。	(株)スペースエンターテインメントラボラトリー ※ ≪ 8010801024800 ≫	南相馬市
5	拡張労働基盤を通じた陳列ロボットの開発・事業化	社会生活において実質的な生活インフラとして機能しているコンビニエンスストアなどの大規模小売業や大規模配送センターの労働力不足の解決を目的に、遠隔操作技術を用いた多関節ロボットを開発し実証を通じて事業化するもの。	Telexistence(株) ≪ 010401129387 ≫	南相馬市
6	福島浜通り地域の活性化貢献および持続可能なモビリティサービスの構築	人口低密度地域でも持続可能なモビリティサービスのスキーム確立による浜通りの活性化貢献を目指し、運用効率に優れた運行システムの開発、実証実験によるシステム、受容性、事業性の検証、移動利用機会創出を行う	日産自動車(株) ※ ≪ 9020001031109 ≫	浪江町
7	ドローンを使った大型風力発電用ブレードに内装されている雷対策用接地線の断線点検実用化開発	本事業はロープワークで行っている雷対策用接地線（以下ダウンコンダクタ）の断線確認を、ドローンを使って安全、確実、スピーディにできることを実証し、また低コストで汎用性の高い点検方法を実用化することである。	(株)東日本計算センター ※ ≪ 3380001013670 ≫	いわき市
			(株)福島三技協 ※ ≪ 6380001001441 ≫	福島市
8	ガスタービン発電機を搭載した高ペイロード緊急物資輸送用ドローンの実用化開発	長時間飛行用ドローンとしてハイブリッド型の機体はあるが、高ペイロードが実現出来ていない。そこで、小型・高出力ガスタービンを開発し発電効率を向上させ、災害対策など緊急物資輸送用ドローンとして実用化する。	柳下技研(株) ≪ 380001032675 ≫	南相馬市
			長岡商事(株) ≪ 240001024993 ≫	広島県

※自治体連携枠での採択

3 エネルギー・環境・リサイクル分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	地域への再エネ導入拡大に貢献するリユース蓄電池システムの大規模化技術の開発	本事業で開発したバッテリー・ステーション(大型リユース蓄電池システム)を活用し、ローカル(RE-100対応)・マルチユース(調整力)EMSの開発を順次進める。最終年度は東北エリアに特有の再エネ予測誤差を解消する新機能を追加開発し、エネルギーサービスの事業化を実現する。	住友商事(株) ※ «1010001008692»	浪江町
2	大型風力発電プロジェクト向け耐疲労性を考慮した太径タワー連結ボルトの実用化開発	阿武隈地域風力発電事業に地元企業から安心、安全なボルトを供給するために、金属組織制御技術を応用した業界初の耐疲労性を考慮したタワー連結ボルトの実用化開発に取り組む	東北ネチ製造(株) «3380001013415»	いわき市
3	商業施設RE100化実現のためのEVエネルギーマネジメント技術開発	再生可能エネルギー由来電力の利用率向上に向け、商業施設や自治体庁舎などの事業所を想定したEVエネルギーマネジメントシステムを開発する。本システムは地域内連携も可能であり、従来技術と比較してコスト低減とEV利用利便性の向上が可能となる。	日産自動車(株) ※ «9020001031109»	浪江町
4	石炭灰を主原料にしたCO2固定材の開発	石炭灰混合材料の性化(CO2吸着・固定化)メカニズムを検証し、CO2固定量を最大化にする使用材料、配合、形態(粒径・表面積)、CO2保持期間等の検討を行い石炭灰を主原料とした石炭灰混合材料のCO2固定材を開発する。	福島エコクリート(株) «9380001026642»	南相馬市
5	グリーンエネルギーマネジメントクラウド実証開発事業	電力需要家等(ユーザと呼ぶ)が、分散電力の余剰・不足の調整を行い有効に活用する為、各ユーザの電力実績データ(消費・発電等)から予測・計画を策定し、相互に需給調整を支援するデータ共有基盤を開発します。	武蔵精密工業(株) «180301007357»	楢葉町
6	地域循環型社会形成促進を目指した汚泥乾燥品利活用システムの実用化開発	汚泥乾燥品の管理システムを開発し、安定した品質保全により当該課題の解決を目指した開発を行う。	(株)IHI ※ «4010601031604»	相馬市

※自治体連携枠での採択

4 農林水産業分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	被災農地の地力回復を目的とするAI技術を活用した施肥計画自動算出システムの構築	国産飼料の増産には、営農費用と参入障壁の低減が必要である。被災農地に着目し、3か年で栽培管理システムの実用化を目指す。土壌因子と収穫量の相関付け、マシンラーニングによる施肥量・収穫量算出、入力/確認用アプリケーション開発を実施する。	次世代グリーンCO2燃料(技研) ※ 《5380005012601》	大熊町 浪江町
2	木材利用促進のための塗料の研究開発	福島県浜通りの木材利用促進に寄与するため、宇宙技術である塗布式断熱材を木材耐火用に改良し、高い耐火性能等を有する塗料及び木質建材の研究開発を行い、大規模木造建築物市場への参入を目指す。	(株)芳賀沼製作 《380001019196》	富岡町
			(株)日進産業 《011401005021》	富岡町
3	植物ワクチンの開発及びワクチン接種苗の実用化	国内野菜産地において防除が困難とされる病原ウイルス・菌のうち、キュウリとカボチャでは3種または2種の複数種ウイルス、メロンでは土壌伝染性のカビを防除する植物ワクチンの開発及びその接種苗の実用化、並びに大量生産システムの開発導入を目指す。	ベルグ福島(株) ※ 《7380001023939》	川俣町
4	次世代分解技術を活用した養殖の国産エサ生産事業	水産養殖業の飼料について、廃棄されている動物性原料・植物性原料を活用しつつ、分解技術を応用した低価格・高機能の養殖飼料を開発し、拡大する養殖マーケットで実用化を目指す。開発された養殖飼料の効果を実証するため給餌試験を行う。	(株)リジェンワークス 《7010401142805》	南相馬市
			(株)林養魚場 《1380001010380》	西郷村
5	ウルトラファインバブル技術を活用した高効率な水産物陸上養殖技術と高鮮度出荷技術の実用化開発	水産物の無投薬飼育を可能とするウルトラファインバブル技術（以下、UFBという）を活用することで、高効率養殖技術や高鮮度出荷技術を開発し、陸上養殖の商業ベースの成立を目指す	(株) HANERU葛尾 ※ 《380001032543》	葛尾村

※自治体連携枠での採択

5 医療関連分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	AI生活会話見守りスピーカーの開発	少子高齢化、人口流出による一人暮らしの高齢者の増加という背景を踏まえ、一人暮らしや在宅の高齢者向けの健康状態チェックや日常会話、悩み相談、予定管理などが可能なAI生活会話見守りスピーカーの実用化を目指す。	(株)シーマン人工知能研究所 ※ ≪2010401118644≫	いわき市
2	ゲノム編集技術による高効率抗体医薬生産細胞樹立技術の実用化開発	高効率・低コストに抗体産生細胞を作出する技術の実用化を目指し、独自開発した高効率高速型ゲノム編集技術sBSK法を導入することで、高効率抗体産生細胞の作出法を実用化し、抗体医薬市場に参入する。	(株)セツロテック ≪8480001009927≫	南相馬市
3	泌尿器系疾患の予防と迅速診断を可能とする非侵襲型測定キットの実用化開発研究	泌尿器系疾患への予防と診断に資する新規マーカーの実用化開発研究を、(株)あすか製薬メディカルが独自に開発した測定システムを利用し、浜通りに展開する医療法人社団ときわ会及び医療創生大学と連携する事で、非侵襲型の泌尿器系疾患予防・診断測定キットの製品化を目指す。	(医)ときわ会 ≪380005005776≫	いわき市
			(株)あすか製薬メディカル ≪020001066661≫	神奈川県
4	経血量が測定可能な超吸収型サニタリーショーツと対応ヘルスケアアプリ、および女性の健康促進サービスの開発プロジェクト	女性の健康向上のため、経血量が測定可能な超吸収型サニタリーショーツを開発し、データを元に体調判定アルゴリズムを確立。生理から更年期まで女性の心身の健康に関する正確な知見と、早期治療をサポートする革新的ヘルスケアサービスを展開する。	(株)Be-A Japan ※ ≪011001133148≫	川俣町
5	X線イメージングを飛躍させる超高解像度、高感度X線検出器の開発	20ミクロン以下の分解能を有する光導波型シンチレータを用いたX線イメージング装置を開発し、国内外の各種X線検出器メーカー、X線CT、X線画像装置を製造する医療機器メーカーへ販売する。	未来イメージング(株) ≪3380001012458≫	田村市
			オールナビクオーツ(株) ≪2380001008721≫	田村市
6	ストレス及びメンタルチェック用AI連携電子瞳孔計及び関連機器の開発及び研究	震災の後遺症、コロナ禍の影響等により、深刻化するストレス過多の社会問題 解消のために、福島県田村市と(株)菊池製作所とAIMS独自のAI技術を活かした電子瞳孔計及び、AI・IOTを活用したソリューション開発を先端企業各社及び産官学と連携する事で実用化します。	(株)AIMS ≪1010001202535≫	田村市
7	睡眠障害の見える化と最適な治療選択のための睡眠評価システムの開発	睡眠評価は検査入院を行い脳波や筋電図の測定を必要とするが、ウェアラブル心電デバイスによって簡便に評価する医療機器を開発し、さらに自治体と連携することで健診から不眠治療まで実現するプラットフォームを構築する。	(株)ALAN ≪020001139795≫	いわき市

※自治体連携枠での採択

6 航空宇宙分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	衛星データによる河川氾濫予兆検知を中核とした、防災支援システム「The Guardian」（開発コード）の実用化開発	衛星データによる川幅の変化から河川氾濫の予兆を検知し、今自分がいる位置に対して浸水被害が及ぶ危険性がある場合にピンポイントで情報を提供する「命を守る」ための防災システム。地上データとしてドローン映像を衛星データと照らし合わせ、衛星の精度向上を行い、災害時にはライブ映像を提供することを目指す。	會澤高圧コンクリート(株) «4430001055203»	南相馬市
2	民間企業による低コストな小型衛星打上用ロケットの開発	近年急速に需要が高まっている小型衛星打上用ロケットに欠かせない要素技術の開発を行い、小型・低価格で高頻度に打上げ可能なロケットを実用化する。本計画では、ロケットの主構造や分離機構、制御コンピュータなどの重要部品を開発する。	インターステラテクノロジズ(株) ※ «5010401080445»	南相馬市
3	PeVTOLの操縦安全性・離着陸安全性を高めるコックピットの実用化開発	個人用空飛ぶクルマ（以下PeVTOL）の乗員の、機体の操作・離着陸の安全性を向上するコックピットを開発する。操縦者が、機体の状況や環境を正確に理解し、安全に垂直離着陸・遷移を行う。コックピットは実際に当社の開発するPeVTOLに実装し、試験飛行を行うことで操作性・安全性を評価する。	テトラ・アビエーション(株) ※ «010001192371»	南相馬市
4	人工衛星搭載用の撮像素子開発と製品化開発およびその試験工程の構築	マツハコーポレーションがJAXAと共同研究開発をした耐放射線CMOS撮像素子をベースに人工衛星搭載用高性能撮像素子を開発し、人工衛星搭載用基準に準拠した品質の確立を目指す。更にその波及効果として、この撮像素子を使用した高精度耐放射線カメラを開発する。	マツハコーポレーション(株) «5040001073895»	南相馬市

※自治体連携枠での採択